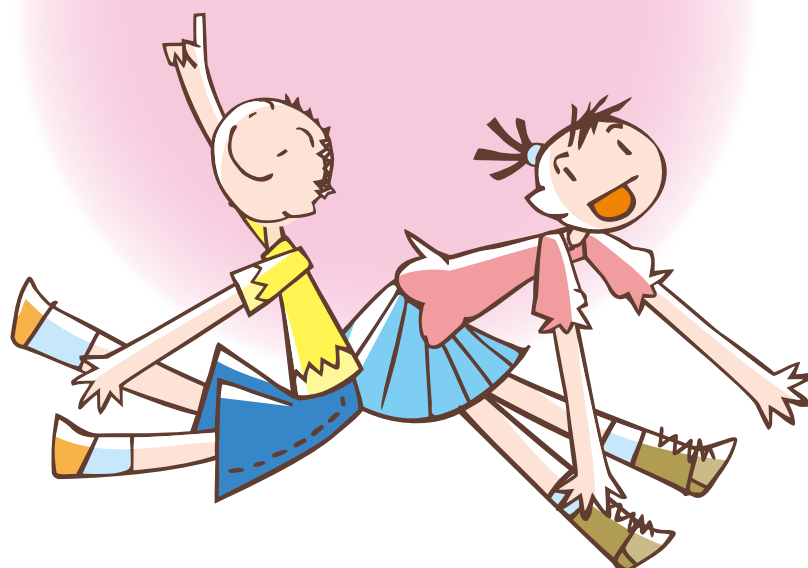


第3章

# 基本計画

## 1. 輝く子どもたち



子育て・教育

### 1. 輝く子どもたち

子育て・教育

## ①子ども・子育て支援の推進

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

### みんなが安心して子育てできるまち

(子育ての環境や支援への満足度 100%)

妊娠から出産、子育てをするために必要な支援を途切れなく提供するとともに、養育不安のある家庭へ気を配り、心身の発達に心配のある子どもや障がいのある子どもたちも安心して生活することができるまちをめざします。

#### ■ 現 状

- 安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりの重要性が高まっています。
- 子どもの貧困問題など新たな社会問題が発生しています。
- 子育てにかかる経済的負担感が高まっています。
- 子どもが過ごす場所の整備について需要が高まっています。
- 社会全体の児童虐待に対する関心の高まりや家族・家庭環境の変化などから児童虐待相談件数が年々増加しています。

#### ■ 課 題

- 「妊娠期」から「子育て期」における継続的な支援が必要です。
- 子育て世帯の経済的負担の軽減が必要です。
- 子どもや子育てを見守り、支えることができるような仕組みづくりが必要です。
- 市民への子ども・子育て支援に関する適切な情報提供が必要です。
- 児童虐待をはじめとする児童に関わる相談に迅速かつ適切に対応する必要があります。

#### ■ 主な取組

- 妊娠・出産・子育て・保育など、子どもや保護者の多岐にわたる悩みや不安を相談できる体制（松阪版ネウボラ）を充実します。
- 児童虐待等の実態把握、より専門的な相談への対応、関係機関との連絡調整等を担う「松阪市子ども家庭総合支援センター」の機能を生かして、円滑な相談体制を推進します。

**New!!** 支援を必要とする児童等への対策を充実します。（発達支援事業拠点を中心とした専門的な対策、放課後児童クラブ巡回相談員を雇用し、支援員、保護者の負担軽減）

**New!!** 放課後児童クラブの保護者による労務管理等の事務負担を軽減します。

- 不妊症及び不育症治療費の助成を継続して実施します。
- こども・一人親医療費の助成を継続して実施します。

**New!!** 子育て世帯への経済的支援を推進します。





（ワンモアベビー支援、新型コロナウイルス対応としての保育料の減額など）

- 市民への子ども・子育て支援に関する適切な情報提供を行います。
- 幼稚園、保育園、こども園、小学校でのフッ化物洗口事業を拡充していきます。
- 病児・病後児保育と一時預かり保育を充実します。
- 三世帯同居・近居の取組を継続して実施します。

■ 関連計画

- 松阪市子ども・子育て支援事業計画
- 松阪市障がい児福祉計画
- 松阪市健康づくり計画

● 数値目標 ●

項 目	現状(年度)	目標(R5年度)	目標種別
乳児家庭全戸訪問実施率	98.7% (R1)	100%	
児童虐待による死亡等重篤件数	0件 (R1)	0件	
12歳児のむし歯がない人の割合	60%( H30)	80%	
運営を委託する放課後児童クラブ数	13クラブ (R1)	20クラブ	

市民ができること

- ◆ 子育てに関する情報の交換をしましょう。
- ◆ 地域の子どもたちへのかかわりを増やしましょう。
- ◆ 児童虐待の防止のため、虐待が疑われる際も通告しましょう。
- ◆ 育児休暇の積極的な取得の応援・支援をしましょう。
- ◆ 一人で不安を抱え込まずに相談しましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 核家族化が進むなか、三世代同居・近居の支援など家族で支え合える仕組みづくりが必要です。

1. 輝く子どもたち

子育て・教育

②未就学児への支援

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

保育園・幼稚園・こども園への就園率 100%

大切な乳幼児期に質の高い教育・保育を提供することで、子どもの健やかな成長と子育て中の保護者を支援します。

■ 現 状

- 少子化が進んでいますが、保育園を希望する方の割合が増えています。
- 保育施設の整備を進めていますが、保育士が不足しています。
- 幼稚園に入園する方が減少しています。

■ 課 題

- 待機児童を解消するとともに、質の高い保育の提供が必要です。
- 恒常的な保育士不足を解消し、保育環境の充実を図る必要があります。
- 幼稚園を選んでいただく取組が必要です。

■ 主な取組

- 保育士の確保と働きやすい環境となるように支援の充実を図ります。(保育士修学資金貸付、私立保育園への補助、保育現場ICT化など)
- **New!!** 幼稚園の「預かり保育」の実施園を増やします。
- 公立幼稚園・保育園のあり方を検討し、施設の再編・統廃合等を進めます。
- **New!!** 0歳児から2歳児を対象とした地域型保育事業に取り組みます。

■ 関連計画

- 松阪市子ども・子育て支援事業計画
- 松阪市教育大綱
- 松阪市教育ビジョン

● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
保育園の待機児童数(10/1国基準)	117人	50人	↓
幼稚園の「預かり保育」実施園数	4園/18園	10園/18園	↑
0歳児から2歳児を対象とした地域型保育事業施設数	0施設	3施設	↑

市民ができること

- ◆ 子どもと過ごす時間を大切にしましょう。
- ◆ 地域ぐるみで子どもを育てましょう。
- ◆ 保育士資格等を活用しましょう。

1. 輝く子どもたち  
子育て・教育

## ③学校教育の充実

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

全ての子どもが安心して学習できる環境にあり、意欲的に学んでいけるまち

(学級満足度尺度調査(Q-U) 満足度 65%)

家庭や地域、学校が協働し、教育力を高め合うことで、全ての子どもたちが安心して生活し、社会の中で自立しようと意欲的に学ぶ学習環境をつくります。

### ■ 現 状

- 家庭や友人の関係、学力不振、無気力や不安など様々な要因から市内では不登校児童生徒数が増加しています。
- 学校給食の食材における地場産物の使用割合は、天候により生産量や価格の変動があり、目標量が確保できない状況です。
- 外国人児童生徒の在籍校が増え、多言語化も進んでいることから学校への十分な通訳の派遣が困難な状況です。
- 貧困などによる教育的に不利な環境におかれた子どもが増加しています。
- 新学習指導要領において、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実が求められています。

### ■ 課 題

- スクールカウンセラーや関係機関等と連携して、個々の子どもの様子を見ていく必要があります。
- 学校給食が食育の生きた教材として活用されるよう、食に関する正しい情報提供を行い、地場産物の使用割合を増加させていく必要があります。
- 外国人児童生徒が学校に適應できるように効果的な支援体制の構築が必要です。
- 就学援助など、支援制度の認知度を向上させる必要があります。
- 地域・家庭環境によらず等しくICTを活用できるよう、学習者用タブレットやネットワーク環境の整備が必要です。

### ■ 主な取組

- Q-Uを活用し、子どもたちや、学級の実態に即した指導を行い、安心した学習環境をつくります。
  - 食材調達方法の見直しや地場産物を使用した新メニューの開発など工夫をします。
  - 就学実態調査を行い、不就学にある子どもの就学を促進します。
  - 教育的に不利な環境におかれた子どもへの支援制度の周知を行います。
- New!** 学習者用タブレットをはじめとするICT環境の整備を行い、教育活動におけるICTの利活用を促進します。

### ■ 関連計画

- 松阪市教育大綱
- 松阪市教育ビジョン

## ● 数値目標 ●

項目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
学級満足度尺度調査(Q-U)の満足度	59.3%	65.0%	
学校給食における地場産物の使用割合	28.9%	35.0%	
小中学校における外国人児童生徒の就学率	100.0%	100.0%	
松阪市標準学力調査における標準スコアの平均	48.5P	50.5P	
家庭学習におけるICTの活用度	4.6%	60.0%	

## 市民ができること

- ◆ 保護者・地域・学校が一丸となって児童生徒の教育に取り組みましょう。
- ◆ 学校支援ボランティアに参加し、登下校の見守りや本の読み聞かせなどに関わりましょう。
- ◆ 農業体験や職場体験学習に協力しましょう。

## ■ 超高齢社会に向けた視点

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進め、「地域とともにある学校づくり」の実現が必要です。